

22日 火曜

創世記

50:1 ヨセフは父の顔の上に崩れ落ちて、父のそばで泣き、父に別れの口づけをした。
50:2 ヨセフは自分のしもべである医者たちに、父をミイラにするように命じたので、医者たちはイスラエルをミイラにした。
50:3 そのために四十日を要した。ミイラにするのには、これだけの日数が必要であった。エジプトは彼のために七十日間、泣き悲しんだ。
50:4 喪の期間が明けたとき、ヨセフはファラオの家の者たちに告げた。「もし私の願いを聞いてもらえるなら、どうかファラオにこう伝えてください。
50:5 父は私に誓わせて、こう申しました。『私は間もなく死ぬ。私がカナンのに掘った私の墓の中に、そこに、私を葬らなければならない。』どうか今、父を葬りに上って行かせてください。私はまた帰って参ります、と。」
50:6 ファラオは言った。「おまえの父がおまえに誓わせたとおり、上って行って、おまえの父を葬りなさい。」
50:7 それで、ヨセフは父を葬るために上って行った。彼とともに、ファラオのすべての家臣たち、ファラオの家の長老たち、エジプトの国のすべての長老たち、
50:8 ヨセフの家族全員、彼の兄弟たちとその一族が上って行った。ただし、彼らの子どもたちと羊と牛はゴシェンの地に残した。
50:9 また、戦車と騎兵も彼とともに上って行ったので、その一団は非常に大きなものであった。
50:10 彼らは、ヨルダンの川向こう、ゴレ



ン・ハ・アタデに着いて、そこで、たいへん立派で荘厳な哀悼の式を行った。ヨセフは父のため七日間、葬儀を行った。
50:11 その地の住民のカナン人は、ゴレン・ハ・アタデのこの葬儀を見て、「これはエジプトの荘厳な葬儀だ」と言った。それゆえ、その場所の名はアベル・ミツライムと呼ばれた。それはヨルダンの川向こうにある。
50:12 ヤコブの息子たちは、父が命じたとおりに父に行った。
50:13 息子たちは彼をカナンの地に運び、マクベラの畑地の洞穴に葬った。それはマムレに面していて、アブラハムが私有の墓地にしようと、ヒッタイト人エフロンから畑地とともに買ったものである。
50:14 ヨセフは父を葬った後、兄弟たち、および、父を葬るために一緒に上って来たすべての者たちとともに、エジプトに戻った。

ヨセフが父ヤコブをカナンの地に葬ったのは、やがて一族がその地に帰るからです。そこは神様が後に子孫であるイスラエル民族に与えた、約束の地です。ヤコブも、息子ヨセフもこの後に何かあるかは分かりませんが、神様のご命令に従順忠実に従いました。

そこには自分自身の判断の余地はありません。またもしも神様から後の新約の神学的真理を説明されても合点がいかなかったでしょう。私たちは、自分の理解を超える神様の真理の前に、従順に従う必要もあるのです。

エジプトからカナンは遠く離れていて、そのプロジェクトは大変なものでしたが、ヨセフはただただ父の信仰、そこに表された主のみ旨に従いました。私たちも見習いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

